

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 26日

事業所名 放課後等デイサービスぞうさん室住教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		指定基準以上のスペースは確保できている。	活動スペースの中でも適宜区切りを設けるなどして室内の空間を有効活用していく。
	2	職員の配置数は適切である	○		職員を加配し、基準を順守した配置を行っている。	今後も基準を順守した配置を行っていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		玄関から事業所内にかけて、段差等無くバリアフリー化に配慮している。	設備のバリアフリーだけでなく必要な児童には手を添えたり付き添うなどして対応していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		日々、支援や運営について職員間で会議を行い、全体の意見を取り入れながら業務を遂行できるよう努めている。	今後も日頃の職員間のコミュニケーションを大切にし、円滑に業務にあたることが出来るようにしていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表を配布し、そこで得られた意見や感想を業務改善につなげている。	今後開催予定の保護者会等での意見も取り入れていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		当事業所ホームページにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現在は実施していない。今後検討していく。	現在は行っていないが、今後検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に研修情報を収集し、機会を確保していく。	研修で得られた知識や情報を事業所内でも展開し、個人だけでなく職員全体の質の向上に繋げていく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		日頃の情報共有や相談対応で得られたニーズなどを反映し、課題や支援方法を検討したうえで作成している。	今後も児童と保護者のニーズを的確に汲み取り、児童にとって必要な支援の質の向上を目指す。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたアセスメントシートを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員間で意見を出し合いながら計画し、実施の前には詳細部分の打ち合わせを行っている。	職員それぞれの目線から見て、各児童に必要な活動を提案していき、全体の意見が反映された活動予定を作成していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		書籍やその他からも情報を仕入れ、当事業所で取り組みやすいような方法に再構成するなどしている。	常に新しい情報を取り入れる体制を作る。児童や保護者のニーズも汲み取り、それらを取り入れた活動を提案することで継続した支援に繋げていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		休校日には屋外活動やクッキングなどの放課後には体験できない活動を設定している。	平日と休校日では過ごす時間が異なるため、それぞれでできることを明確にし、児童にもそれが伝わるよう支援していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個人的な課題と集団にいる時の課題とを見極めながら計画書を作成している。	個別活動や集団活動で得られる経験やめあてを意識して支援の内容を検討していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝ミーティングを行い、児童の最近の様子等を踏まえて必要な支援を検討している。	今後も継続して朝のミーティングを行い、職員間での意識の統一を図っていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼を行い、気づきや気を付けるべきこと、保護者からの申し送りなどを共有している。	今後も継続して終礼を行い、振り返りの中で得られた知見を今後の支援や運営にいかしていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎回の支援後に記録を残し、必要に応じて振り返りながら活用している。	個別支援計画書との整合性を意識するとともに、その日の特徴的な様子や大切な情報なども適宜記録していく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年毎など、定期的に見直しを行い、支援計画の更新に繋げている。	モニタリングの時期を常に意識する。対象の児童の成長や変化を計画を通した目線でもくみ取れるよう支援していく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		基本活動を組み合わせ実施している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参加している。	今後も引き続き児童発達支援管理責任者が主軸となり、適宜必要な職員とも意見を出し合いながら会議に参加していく。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		保護者との情報共有を軸に、必要に応じて連携している。	今後も適宜必要な情報を共有していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在、医療的ケア児の利用はなし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	受け入れ開始前に、保護者や相談支援員からの聞き取りや資料を提供してもらうことで情報共有に努めている。	必要に応じて、必要な情報について連携の中で共有していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		現在、該当する児童はいないが、今後の対応として連携を検討していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		研修や助言を受けられる機会を定期的に見つけていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		地域のイベント情報など収集し、参加できる機会を検討していく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		○		参加できる機会を作り今後につなげていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や送迎の際にその日の様子などを伝えられている。	支援に関わる保護者からの情報などを職員間で共有し、どの職員でも共通の理解ができている体制を作る。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		日々の相談支援の中で個別で助言は行っている。	ペアレント・トレーニングについて、必要に応じて今後の実施を検討していく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約の際に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談がある際には個別で時間を設けて対応を行っている。	日々変化していく児童の様子等を的確に捉え、との時々に必要なサポートができるよう努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	2024年9月に第一回目を開催予定。その後は年2回ずつ開催予定。	継続して参加し続けてもらえるような会の内容を検討していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		契約の際に苦情相談の窓口の説明を行っている。ご意見を頂いた際には迅速に対応している。	引き続き、今後のご意見をいただいた際には迅速な対応を行っていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		SNSを用いて定期的に活動の様子や予定を発信している。月末にはその月の様子をまとめた写真を送信している。	引き続き、定期的な更新を行い情報を発信していく。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報保護の規定があり、取り扱いには十分注意している。書類は鍵付き書庫に保管している。	引き続き、書類だけでなく知り得た情報の取り扱いには注意していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		絵カードによる個人の一日のスケジュールなどを掲示したり、視覚的に理解しやすい掲示物を貼るなどしている。	より丁寧に意思の疎通を図っていくために、必要と思われるツールを検討していく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後活動や行事を検討する際に、地域との交流も踏まえて検討していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		各種マニュアルを作成し、職員に周知しています。	今後、マニュアルに該当するような事案が発生した際には、マニュアルに沿った行動を取ったことを明示し、保護者へと周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年間スケジュールに沿って実施している。実施後は各保護者に訓練報告を行っている。	今後も年間スケジュールに沿って実施していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		マニュアルを作成している。	今後虐待防止の研修に関する情報を収集し、適宜参加していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約の際に説明を行っている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約の際に確認を行い、職員間で情報共有を行っている。	今後、食物アレルギーについて該当する児童がいる場合には、医師の指示書や確認事項の情報を確実に把握していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有したのち今後の対応を検討している。	